

サンデーサイエンス

シカ笛をつくろう

担当：動物研究室

1 内容

発声を行う哺乳類には様々な種があるが、ここでは日本を代表する大型哺乳類の1種である偶蹄類のシカ（*Cervus nippon*）を題材に、その体のつくりの特徴と共に、鳴き声の生態的意味について説明を行う。また、実際にアイヌの人たちが狩猟などに利用した、シカをおびき寄せるためのシカ笛を参考に、簡易型のシカ笛の工作を行う。

2 準備物

ストロー、5寸釘、セロテープ、発泡スチロール板、PPテープ

3 手順

- （1）同じ偶蹄類であるシカとカモシカの違い、シカの角の成長の特徴、シカの食べものと反芻の仕組みについて、シカの鳴き声の種類と意味などについての説明を行う。
- （2）北海道の先住民族であるアイヌの人々のシカ狩りの方法についての説明を行い、その際に用いたシカの鳴き声を模してシカをおびき寄せるためのシカ笛の構造の解説を行う。
- （3）適当な大きさ（長方形）にカットした発泡スチロール板に、ストローが差し込める大きさの穴を五寸釘で“やや斜め”に空ける。
- （4）五寸釘で空けた穴に、ストローを差し込み、セロテープでしっかりと固定する。
- （5）ストローを差し込んだ側だけにストローを残し、反対側はスチロール板の面に合わせて余分なストローをカットする。ストローをカットした面に、スズランテープをぴったりと貼り、裏側をセロテープで固定する。
- （6）スズランテープ面に両側から人差し指を添えて、ストローに息を吹き込んで音を鳴らす。



ニホンジカの群れ



シカ笛をつくる



シカ笛を吹いてみる



シカ笛（表）



シカ笛（裏）

4 注意点

- ・息の吹き込み方と、スズランテープの上の指の位置によって音が変わるので、いろいろ試してみる。
- ・スチロール板に五寸釘で穴を空ける際は、指を怪我しないように十分に注意を行う。
- ・協力：帯広百年記念館、アイヌ民族博物館